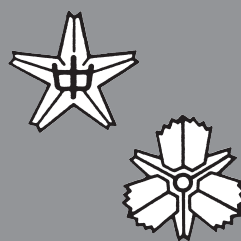




発行所
〒921-8517
金沢市泉野出町 3 丁目10-10
石川県立金沢泉丘高校内
一泉同窓会
電話 (076) 242-0211
FAX (076) 216-5656
2017(H29). 3. 31. 発行
E-mail: issen.knz@hotmail.com



今年（平成29年）創部110周年を迎える一泉野球部 OB 会は、記念事業として 8 月下旬に東大野球部を金沢に迎え「野球と勉学について」（仮題）のパネルディスカッションや、母校・泉丘高校野球部との交流試合を行う。宮地治 OB 会会長（泉丘23期）の案を同会が了承、寺口結同校野球部監督の母校・筑波大野球部の河村卓監督と東大野球部の浜田一志監督とが親交のあったことや、母校野球部出身の杉本幹太東大野球部員（同66期）の働きかけも幸いして話はトントン拍子に進んだ。（17ページに関連記事）

宮地 治一泉
野球部 OB 会長



杉本 幹太
東大野球部員



一泉野球部 OB 会の創部110周年事業 東大と泉丘高が交流試合 8月27日 前日の「部活と勉強」の教え請う

東大は秋の 6 大学リーグ戦の関係で、下級生チームを主体に 8 月26日（土）に金沢入りする。同日午後 5 時から香林坊の金沢東急ホテルでのパネルディスカッションに臨む。部員数人が出演、勉強の仕方や同大野球部の様子などについて話す予定。入場は無料で泉丘の部員や父兄、一泉同窓会会員だけでなく多くの高校、大学野球ファンの来場を歓迎している。終了後は同ホテルで両校野球部員と父兄、一泉野球部 OB 会員による交流パーティーが開かれる。

翌27日（日）は午前 9 時半から県立野球場で創部110周年の記念式典、10時から交流試合が行われる。こちらも入場無料で小・中・高校の野球部員や一般の野球愛好者など多くの来場を望んでいる。

記念事業は入場無料

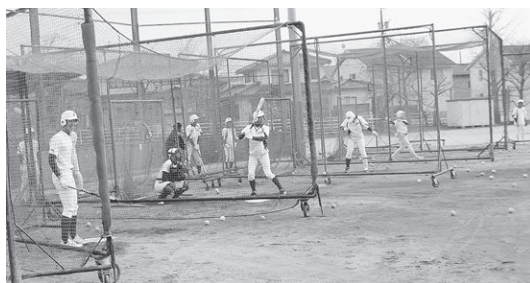
宮地会長は昨年12月初旬、NHKBS テレビの『東大野球部特集』を見て、同野球部が地方の公立高校出身者を強く求めていることを知った。東大には後輩の杉本選手がいるので、

東大と母校の野球交流が実現すれば母校野球部から東大野球部をめざす刺激にもなると考えた。

早速12月17日に谷端時宗（同43期）、林泰三（同54期）の両常任幹事、寺口監督と共に東京・本郷の東大野球部を訪れて浜田監督にあいさつ、練習を見学した。

ちなみに下級生チームのキャプテンとして来沢することが決まっている杉本選手は、米谷半平さん（一中50期、三塁手）、北村英也さん（泉丘42期、捕手）に次いで 3 人目の泉丘高校野球部 OB の東大野球部選手である。

母校野球部 OB から近年、神宮球場を沸かす選手が多く出ている。平成26年春季リーグ戦で首位打者と本塁打王になった早大の 4 番武藤風行選手（同63期）、慶応の松尾拓実投手（同58期）と松本和将捕手（同59期）も活躍した。宮地会長は後輩たちの今後に大きな期待を寄せている。



バッティング練習に励む泉丘ナイン

地区同窓会だより



1100人が創立123周年を祝う

大盛況の一泉総会・懇親会

創立123周年記念・平成28年度の一泉同窓会総会・懇親会が10月15日夜、金沢駅前のホテル日航金沢で開かれた。今年の幹事期・泉丘35期が定めたテーマは「未来に向かって!! one, two, three 新たなるステージへ」。大ホールからロビーにまであふれた約1100人の参加者は、次のステージの130周年に向けて母校の発展と会員の結束を誓い合った。

母校吹奏楽部の演奏に続いて開かれた総会で清水義博会長（泉丘22期）は、今春の第100回高校相撲金沢大会で母校が98回と全国最多出場を果たして表彰されたことや、夏の高校野球で11年ぶりに母校がベストエイトに進ん

で球場を沸かせたことを紹介、「伝統を受け継いで確かな前進を続ける母校をしっかりと応援して行こう」と呼びかけた。また、第25代校長として今春就任した宮崎栄治校長は「皆さんの後輩は元気です」とあいさつして、文武両道に頑張る現役生の様子を紹介した。

続いて中山一郎事務局長（同10期）が27年度決算や今年度予算、事業などを報告。役員改選では、新たに女性副会長と相談役をそれぞれ3人選任して18人となった新役員が拍手で信任された（役員名は次ページに掲載）。

ジャズ演奏と歌で幕開け

懇親会は35期の能崎晋一君と野村未来さんが司会を務め、モリー川ヒロトー君（同34期）の映像と共に溝口尚君（同39期）率いるカルテットのジャズ演奏と吉村恭子さん（同35期）のボーカルで幕を開けた＝写真＝。続いて蚊谷八郎前会長（同14期）の乾杯の音頭でにぎやかに酒宴となった。途中、三世代一泉同窓生の6家族が紹介され、羽織袴姿の広瀬靖久君（同16期）のリードで応援歌、一中・泉丘の両校歌を高らかに合唱した。

担当幹事期引継式では35期中村太郎実行委員長がお礼のあいさつを述べ、来年度幹事の36期代表・北村彰英君が「思い出に残る同窓会をめざします。元気で出席してください」と決意表明した。最後に林隆信副会長（同22期）の発声で三本締めを行って閉会した。

亡き師や同窓生を悼む^{物故者慰霊祭}

一泉同窓会の平成28年度物故者慰霊祭が創立記念日の10月15日午後、母校の厳霜碑前で行われた。同窓会が把握する物故者は同日現在で一中6977人、泉丘2231人、通信8人、教職員417人、計9709人。参列した同窓生や学校関係者ら35人は亡き師や級友、先輩、後輩の冥福を祈った＝写真＝。

石浦神社の長谷吉慶宮司が祝詞を奏上、清水義博同窓会会長（泉丘22期）、宮崎栄治校長、今年度の総会・懇親会実行委員長の中村太郎さん（同35期）らが順に玉串を捧げた。



一中関係者の参列が年々少なくなる中で、今年度は横野浩さん（一中54期）、中橋壽雄さん（同55期）、普神貴行さん（同56期）の3人が顔を見せた。

一泉同窓会 新役員18人決まる

10月15日の一泉同窓会総会の席上、役員改選が行われて、清水義博会長体制の4期目がスタートした。任期は平成28年10月16日から30年10月15日までの2年間。

新しい役員は次の皆さん (○印は新任)。

◆会長 清水義博 (泉丘22期) ◆副会長 林 隆信 (22期)、泉屋利郎 (14期)、新村康

二 (18期)、岡 能久 (20期)、温井 伸 (26期)、○大砂雅子 (26期)、○竹澤敦子 (29期)、玉川昌範 (31期)、○至極明子 (34期)、中村太郎 (35期)、北川雅一郎 (39期)、小倉一郎 (40期)、笠松寿美子 (通信41期) ◆監事 澤田力雄 (泉丘15期)、○広多清一 (29期) ◆事務局長 中山一郎 (10期) ◆相談役 普神貴行 (2期)、小倉周一郎 (7期)、蚊谷八郎 (14期)

過去最高の440人が出席

関東一泉 新会長に北川さん^(30期)

第58回 (平成28年度) 関東一泉同窓会の総会・懇親会が10月29日、東京・西新宿のハイアットリージェンシー東京で開かれた。過去最高の440人の参加者は、今年の幹事期・泉丘37期が定めたテーマ「世代を超えて一つに、One 一泉」のもと、幅広い世代のメンバーと声を掛け合い楽しみながら「一泉」の一体感をさらに高めた。金沢からは清水義博一泉同窓会会長 (泉丘22期)、宮崎栄治校長、江尻祐子副校長 (32期) ら8人が出席した。

37期の木津安広君と伊藤美和子さんの司会で総会が始まり、役員改選で新谷修会長 (11期) が退任、新会長に北川秀二さん (30期) が就いた。続いて清水会長と宮崎校長が祝辞を贈り、母校の近況を報告した。

懇親会は今年も元気に出席された古澤英雄さん (一中42期、99歳) 発声の乾杯で幕を開けた。会場には「地酒コーナー」や「金沢の味コーナー」が設けられ、故郷の味を満喫しながら会話が弾んだ。恒例のテーブル対抗クイズ大会は昭和の人気番組にヒントを得た「クイズ一泉同窓生100人に聞きました」で、



高校時代や金沢を思い起こす出題に笑いと拍手のうちに時間が過ぎた。

エンディングは一中・泉丘の両校歌斉唱から。壇上に勢ぞろいした泉丘37期の90人余は、年々参加者が減る一中生 (今回は12人出席) を応援するために一中校歌を暗唱して臨んだ。堂々とした歌い込みに一中参加者は大感激だった＝写真＝。斉藤秀之37期代表幹事のお礼のあいさつに続いて来年度幹事の38期・野村出君が決意表明した。最後に宇野明美関東一泉同窓会副会長 (同23期) の閉会の辞と3本締めで名残を惜しみながら散会した。

新役員は次の皆さん。◇会長 北川秀二 (30期) ◇副会長 宇野明美 (23期)、山本慎一郎 (30期)、中嶋敦史 (33期) ◇監事 山下哲之 (22期)、浅井稔 (23期) ◇顧問 村上与恵 (12期)



We can create a sustainable society for future generation.
一般社団法人 MuU (漢字表記: 無) MuU=Mutual Understanding

理事長 清水 義博 (一泉同窓会会長)
(泉丘22期)

金沢市高尾台3丁目127番地 TEL&FAX 076-296-2577

自動車販売・整備

キスモ株式会社

代表取締役 林 隆信 (一泉同窓会副会長)
社 長 (泉丘22期)

専務取締役 林 泰三 (泉丘54期)

本社 〒921-8043 金沢市西泉3丁目2番1号
TEL (076) 280-4455 FAX (076) 280-0657



母校の発展願い校歌合唱

36回目の「関西一泉」開く

平成28年度・第36回関西一泉同窓会の総会が6月4日午後、大阪市中央区城見のパノラスカイレストラン・アサヒで83人が出席して開かれた。金沢から清水義博本部長（泉丘22期）や宮崎栄治校長、恩師の梶本逸子先生ら6人に加え、今秋の一泉同窓会総会を運営する同35期の石山直哉実行副委員長ら3人も特別参加、「10月15日は金沢に集まろう」と前宣伝した。

関西在住35期中の中村嘉克君と目細実君が司会を務め、高橋初枝副会長（同4期）が歓迎のあいさつを述べた。続いて清水本部長、宮崎校長、梶本先生が同窓会の活動や母校の様子を紹介した。懇親会では最長老の八日市屋健治郎さん（一中51期）の発声で乾杯、恒例のふるさと銘菓が沢山準備されたラッキープレゼントでは、今年も岡谷雄二さん（泉丘19期）が楽しい司会ぶりを披露、会場は笑いに包まれた。最後に母校の一層の発展を願い、一中・泉丘の校歌を合唱＝写真＝、宮本晴江副会長（泉丘13期）の閉会のあいさつで名残を惜しみながら散会した。

いつものように北新地の「珠洲」（松尾ゆきえさん経営・通信12期）で二次会が行われ、

もう一度盛り上がった。

100人超えて初の白山一泉

協力して大同窓会めざす

平成28年度の白山一泉同窓会総会・懇親会が11月21日、同市のグランドホテル白山で行われた。今年は、白山一泉同窓会として初の開催で、例年の参加人数を大きく超える105人が出席した。

総会では、青木桂生会長（泉丘13期）が「松任・美川・鶴来・白山ろくの各地域の同窓生が、白山一泉としての同窓会活動にご協力いただきたい」とあいさつした。続いて行われた講演会では、石川テレビの根布寛社長（泉丘19期）が、ポルトガルで発見された「加賀松任町惣中言上書」について話した。

懇親会では冒頭、一泉同窓会の清水義博会長（同22期）が祝辞を述べ、地元松任地区出身の宮崎栄治校長は、現在の母校の状況や生徒たちの様子を報告した。最年長参加者の金



谷与平さん（一中46期）の音頭で乾杯し酒宴に入った。白山市内のあちこちからの参加者は新たな出会いに話を弾ませ、恒例のビンゴゲームで会場は大いに沸いた。

最後に一中・泉丘の校歌を全員で斉唱し＝写真＝、福田裕副会長（泉丘18期）の中締めで名残を惜しみながら閉会した。

（米田和功＝泉丘44期・記）



学校法人金沢工業大学

理事長 泉屋利郎（一泉同窓会副会長
泉丘14期）

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1
Tel. 076-248-1100

医療法人社団

新村病院

〒920-2104 白山市月橋町722-12 ☎(076)273-0100
社会福祉法人 鶴来会
特別養護老人ホーム

あじさいの郷

〒920-2132 白山市明島町春130 ☎(076)273-0123
理事長 新村康二（一泉同窓会副会長
泉丘18期）

はじめまして、平成28年4月に栄えある金沢泉丘高校第25代校長を仰せつかりました宮崎栄治と申します。よろしくお願いいたします。

高校時代の部活動で軟式庭球（現ソフトテニス）の練習試合に本校にお邪魔をしたぐらいで、私自身はあまりご縁がなかったのですが、実は、私の弟が34期生でサッカー部の副キャプテンをやっておりました。雨の日も雨合羽を着て、自転車で松任から通っておりました。その下の妹が40期生でテニス部でした。これはなんとなく部活をやっていたようでして、日曜日の朝、練習に遅れるというのでせがまれて何回か車に乗せて送ってきたことを覚えております。

一泉同窓会のみなさまへ

金沢泉丘高校長 宮崎 栄治



それはさておき、本校は今年創立123年目を迎えます。「心身一如」の教訓のもと、昨年指定を受けましたSGH（スーパーグローバルハイスクール）事業と今年第4期の指定を受け、通算14年目に入るSSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業を活用して、多面的に考え、多角的に行動する力を備えて、国際舞台で活躍する人材及び国際的に活躍する科学技術系人材を育てるとともに、次世代を担う心身ともに健全で品位と良識あふれるリーダーの育成を目指しております。

今後とも、同窓会のみなさま方に誇りとしていただける学校であり続けるように、職員、生徒ともども頑張っておりますので、重ねてよろしくお願いいたします。

三馬一泉が28年連続開催

三馬一泉同志会の第28回総会・懇親会が7月8日、金沢市野町4丁目の料理割烹「むとう」で12人が出席して開かれ、いつものように母校の思い出や地域の話題に花を咲かせた＝写真＝。

私・北島が司会、総会で田中一郎会長（泉丘8期）が「この会も今年で28年連続開催である。2年後の30周年を盛大に祝うために会員増を図っていきたい」とあいさつ、28期目の決算と今期予算を承認、特別参加の中山一郎一泉同窓会事務局長（同10期）から100回目を迎えた高校相撲金沢大会に母校が98回と最多出場し、盛大な祝賀行事と大応援が行われたことなど同窓会活動と母校の近況が報告された。



続いて角信平さん（同5期）の発声で乾杯、旬の加賀料理を肴に盃を酌み交わした。最後に鍋谷日出雄さん（同期）が「後輩たちの活躍で母校の名が一段と上がり、うれしい限りである。立派な高校を卒業できたことを誇りに地域のために頑張りと、来年も元気に集おう」と結んで閉会となった。

（北島敏男＝泉丘8期・記）

漆器の能作

代表取締役 岡 能久（一泉同窓会副会長）
会 長 （泉丘20期）
相談役 海道 正人（泉丘20期）

本店 〒920-0962 金沢市広坂1丁目1-60
TEL (076)263-8121代 FAX (076)263-8122

株式会社 北國新聞社

〒920-8588 金沢市南町2番1号
TEL (076)263-2111

一中・泉丘 各期の集い①



◆泉丘4期が2年連続で昼食会同窓会

泉丘4期は28年度の同窓会を7月14日に金沢ニューグランドホテルで開いた。2年連続の簡素化同窓会で昼食会とした。年間の物故者は過去最高の12名となり、出席者は39名(男21名、女18名)だった＝写真＝。

総会は藤井修副会長が司会、物故者に黙祷を捧げた後、校歌を斉唱、山崎昭一郎会長があいさつした。続く懇親会は米永時雄幹事が初司会にまわり、中村外茂治君が恒例の謡曲を披露、三野裕顧問の乾杯の音頭で酒宴に入った。長谷川芳子さんの新舞踊の披露もあり、和らいだ雰囲気の中で歓談が続いた。

幹事長の私・坂井が中締めして、山崎会長が閉会のあいさつで「来年も続けましょう」と提案すると、全員賛同の歓声が上がった。続く茶話会には29名が参加し、名残を惜しんで最後まで楽しんだ。(坂井治三郎・記)

◆64年ぶりに初の「ふくせん会東京大会」

北陸新幹線の開業を機に泉丘6期・ふくせん会初の東京大会が10月3日と4日、上野水月ホテル森鷗外荘で開かれた。金沢14名、関西1名、中京2名、地元の関東31名の総勢48名(男38名、女10名)の集まりで、大いに盛り上がった＝写真＝。

東京幹事の高浪之雄君の進行と開会のあいさつで宴は始まり、全員で健康で参加できた

ことを祝して乾杯した。続いて亡き級友に哀悼の黙祷を捧げた後、代表委員の吉本健一郎君が加賀宝生流の「高砂」の一節をうたい上げ、辻貞夫ふくせん会会長が相撲甚句を披露、最後は応援団旗を打ち振って校歌斉唱でお開きとなった。

翌4日は、はとバスで都内観光。話題の築地市場を見学、帝国ホテルで昼食の後はメーンの東京スカイツリーへ。地上350メートルの展望デッキからさらに100メートル上の展望回廊に昇って一泊2日の行程は無事終了。遠来組は東京駅まで見送られて解散となった。

(Y・T生＝記)



トピックス

一泉同窓会の各期でゴルフコンペが行われているが、泉丘8期の「ダボ丑会」(岩井幸吉会長、昭和47年発足)が最もコンペ回数が多いのではなかろうか。

泉丘8期 ダボ丑会 今秋200回記念コンペ

当初の年4回が定年頃から6回に増え、昨28年10月20日の金沢CCでのコンペで195回を数えた。今年9月には200回の記念大会を開催予定で、24人の会員は意気盛ん。ダブルボギーの連続でも丑年生まれ(寅年もいるが)は粘り強い。

K.I.T. 金沢工業大学

研究支援機構産学連携室 教授
国際交流センター副所長

大砂 雅子 (一泉同窓会副会長
泉丘26期)

扇が丘キャンパス
〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1

人・愛・信頼の街づくりを…

alice アリス学園グループ

理事長 竹澤 敦子 (一泉同窓会副会長
泉丘29期)
竹澤 結花 (泉丘57期)

〒921-8176 金沢市円光寺本町8-50
TEL (076) 280-1001 FAX (076) 293-1818



◆恒例の関東八泉同窓会に25人集う

毎春恒例の関東八泉同窓会（泉丘8期）が4月4日午後、東京・市ヶ谷の「アルカディア市ヶ谷」の7階白山の間で開かれた。金沢から福田太睦八泉会代表と私・茶屋勝也の2人が出席、総勢25人が集まった＝写真＝。

幹事の荒木二夫君が開会のあいさつを行い、続いて福田代表幹事も金沢の様子も交えてあいさつ、中田啓君の乾杯の音頭で懇親の宴が始まった。今年も外堀の満開の桜を眼下に眺めながら和気あいあい、楽しい2時間半を過ごした。最後に私・茶屋が「来年も元気で集まろう」とあいさつして、三本締めで締めくくった。（茶屋勝也・記）

◆泉丘10期・泉寿会が喜寿同窓会

泉丘10期・泉寿会の喜寿記念同窓会が8月24日、和倉温泉の加賀屋・あえの風一泊で39人が出席して行われた＝写真下＝。

総会の司会は事務局長の私・浅田が行い、平成26年8月の前回同窓会後に亡くなった9人を含め、全体で103人になった霊に黙祷を



捧げた。続いて若林茂樹会長が「マドンナも座るときにはどっこいしょ」などと川柳交じりの歓迎のあいさつで笑いのうちに開幕、金子兵衛関東泉寿会会長、梅原兼興関西泉寿会会長が近況報告を行った。

懇親会では久野絹枝副会長が司会を務め、久しぶりに岐阜市から参加の友影龍郎君の乾杯の音頭で酒宴に入った。歓談の合間には笠井利久君のマジック、森礼子さんの歌謡舞踊、金子君の歌と安原由紀子さんのフラダンスが披露された。大谷孝弘君の軽妙な司会のビンゴゲームも豪華景品で盛り上がった。ナイトラウンジでの二次会はカラオケ合戦、幹事部屋での三次会もほとんどが顔を見せ、深夜までにぎやかさが続いた。

◆泉寿会初の昼新年会には44人出席

明けて2月9日には金沢東急ホテルで、初の昼開催新年会が行われ、男25人、女19人の計44人が出席、「今年も元気で楽しもう」と誓い合った。（浅田武男・記）



◆泉10期関東泉寿会も恒例の新年会

泉丘10期関東泉寿会恒例の新年会が29年1月29日、東京・四谷の主婦会館プラザ「エフ」で開かれた。金沢から村田紀代司次期泉寿会会長ら4人、中京から2人、地元関東から金子兵衛会長ら18人の計24人が出席した＝写真上＝。来年から新年会にこだわらず、暖かい時期に集まることにした。（大谷孝弘・記）

賃貸保証は、次のステージへ。



株 式 会 社 レ グ シ ス

代表取締役
会長兼社長 **玉川 昌範**（一泉同窓会副会長）
（泉 丘 31 期）

〔金沢支店〕〒921-8163 金沢市横川7-35-1 ルミエール横川2F
TEL (076) 229-7156 FAX (076) 229-7232

〔本 社〕〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-11-2 イートピア岩本町2丁目ビル3F
TEL (03) 5835-2423 FAX (03) 5835-2424

日 榮 ・ 加 賀 雪 梅 醸 造 元

金 沢 中 村 酒 造 株 式 有 限 公 司

代表取締役
社 長 **中 村 太 郎**（一泉同窓会副会長）
（泉 丘 35 期）

本社 〒920-0867 石川県金沢市長土堀 3 丁目 2 番 15 号
TEL (076) 248-2435 FAX (076) 248-2436

◆泉丘12期の関東緑窓会に25人出席

関東緑窓会泉丘（12期）が6月3日、東京の渋谷エクセル東急ホテルで25人が出席して開かれた＝写真＝。



正午からの開催で、昨年出席していた同窓生2人が亡くなったので、黙祷を捧げて冥福を祈った。続いて洋食を食べながら約1時間歓談、中ごろに「金沢を味わう、映像で」などのビデオを楽しんだ。最後に校歌を斉唱、来年の幹事を選んで午後3時過ぎに閉会した。

今年は大多数が後期高齢者になるので、出欠の返信はがきに「元気なうちにやってみたいこと」と言うテーマでコメントを書いてもらい、出席者全員に配布して話題になった。

（瀬下孝之・記）

◆泉丘14期が恒例の忘・新年会

泉丘14期恒例の忘年会が12月14日、金沢市主計町の鍋割烹「みふく」で行われ、男30人、女6人の計36人が美味しいカキ鍋に舌鼓を打った。同会は年々女性参加者が増えている。

また、明けて2月14日には例年通り、東山



1丁目のやき鳥「ちょう吉」を貸し切って新年会が開かれ、こちらは24人が出席した＝写真＝。蚊谷八郎会長が「今年も元気で楽しもう。一泉同窓会の諸行事にも積極的に参加して14期の存在を示そう」とあいさつ、賑やかに生ビールの盃を重ねた。（穴戸 範・記）

◆泉丘15期生が3年ぶりに同窓会

泉丘15期生の同窓会が8月13日、金沢駅前のホテル金沢で開かれた。前回の卒業50周年記念同窓会から3年ぶりで58人が出席、旧交を温めた＝写真＝。

初めにこの3年間に亡くなった11人を含む58人の物故級友に黙祷を捧げ、全員で校歌を合唱して開会した。中村進代表のあいさつに続き、乾杯を遠路茨城から参加の中垣紘一君が行って酒宴となった。今回は余興がなく2時間余りを歓談の時間としたが、各テーブル



とも高校時代の思い出話や近況報告に花を咲かせた。

特記すべきことに一泉同窓会のデーターのすごさを感じることがあった。2年の1学期に東京に転校した新羅正弘君の住所がわかり案内を出したところ、新羅君が出席してくれて、当時のクラスメートと話が弾んだ。

最後に応援歌を歌い幹事を務めた私・草野が2年後の再会を約して閉会した。二次会には48人が参加してもう一度盛り上がった。

（草野輝久・記）

RYOKI

菱機工業株式会社

取締役社長 北川雅一郎（一泉同窓会副会長）
（泉丘39期）
専務取締役 北川 信重（泉丘21期）

〒921-8626 金沢市御影町10-7
TEL (076) 241-1141 FAX (076) 244-6888



北菱電興株式会社

取締役 小倉周一郎（一泉同窓会相談役）
相談役 小倉周一郎（泉丘7期）
代表取締役社長 小倉 一郎（一泉同窓会副会長）
（泉丘40期）

本社 〒920-0381 金沢市古府3丁目12番地
TEL (076) 269-8500(代) FAX (076) 269-8501

◆泉丘16期が3年ぶりに同窓会

泉丘16期生同窓会が11月23日、同級生の庄田正一君が社長を務める金沢ニューグランドホテルで恩師の楠禎一郎、普神貴行の両先生を含め68名が出席して開かれた＝写真＝。3年ぶりの開催で前回同様、私・山本が制作した懐かしの泉丘高校の校門がステージに設置され、右サイドには466名の仲間のうち、残念ながら他界した49名の顔写真パネルが飾られた。

司会・進行役も私・山本が担当、物故級友と亡き師に黙祷を捧げ、次いで広瀬靖久代表



幹事が歓迎のあいさつと会の現状を報告、楠、普神両先生にあいさつをいただき、八田伸一君の発声で乾杯して酒宴となった。

歓談の後はクラスごとに登壇して近況報告、応援団のリードで応援歌、校歌を斉唱、私の掛け声で1本締めを行い一次会を終えた。

ホテル最上階のラウンジでの二次会で、4ホームの長柄孟君が「毎年同窓会を開こう」と提案、来年も11月12日にこのホテルでの同窓会開催が決まった。（山本武生・記）

◆泉丘18期おはこ会同窓会に76人参加

平成28年5月30日、泉丘18期おはこ会の同窓会が金沢東急ホテルで開かれた。これまで4月29日に開催していたが、出にくい、JR割引のジパングが使えないなどの意見があり、今年は5月の平日開催となった。76人が出席した＝写真＝。

今年の代表幹事の私・丘村があいさつ、卒業以来の69人とこの1年に亡くなった5人の合計74人の物故者に黙祷を捧げた。また、毎年ご出席の安高徹先生は残念ながら2日前にご逝去され、おはこ会同窓会のシンボリック存在の先生をなくしてしまった。

その後、荒磯千舟18期代表委員、長元正春



関東おはこ会会長があいさつ、90歳を迎える楠禎一郎先生の乾杯のご発声で宴が始まった。東川政一君の木遣り、岡田秀樹君の相撲甚句、林節男君の富山干し柿の研究発表、藤島寛仁君のギター演奏などの余興で会はなごみ、楽しい会話も尽きることがなかった。

次期代表幹事の新村康二君が抱負を述べて校歌を斉唱、来年の古希を祝う同窓会の盛会を祈ってお開きとなった。（丘村 誠・記）

◆泉丘19期が卒業50周年記念同窓会

泉丘19期の卒業50周年記念同窓会が8月14日、金沢駅前の金沢都ホテルで37人が出席して開かれた＝写真＝。

19期の同窓会と言えば旧盆の14日が恒例で続けて開いていたが、昨年、1昨年と連続休みとなっていた。それだけにみんな待ち遠しく、近況報告では熱が入って全員持ち時間オーバーとなった。航空機会社に勤めていた人は飛行機の便利さを、JRに勤務していた者は電車の安全を、道路公団の人は車の移動の自由さを語り、退職後も元の仕事に対する情熱は衰えていないと感じた。さらに、定年後に新しい仕事を始めた人もあり、まだまだバイタリティーあふれる19期生を実感した。

出席者に東京近郊の方が多く、中には初参



加者もあり、新幹線効果あふれる同窓会だった。ほとんどが二次会にも顔を見せ、2年後・平成30年の古希同窓会での再会を期して散会した。（中島広志・記）

昭和8年 一中ストライキの顛末

昨平成28年5月22日、金沢市の石川県卯辰山相撲場で行われた高校相撲金沢大会は、100回目の記念大会だった。われらが母校金沢一中・泉丘高校は大正4年の第1回大会から出場を続けており、100回記念大会の出場選手が決まると同時に一泉相撲部OB会実行委員会と一泉同窓会は大会前日の21日夜、金沢市内のホテルで「連続100回出場祝賀会」を計画した。ところが、これまで連続出場と報道していた新聞社から、昭和8年の第19回大会と翌9年の20回大会を一中が欠場していたと知らされた。この年、一中生に何があったのか。当時の北國新聞や「金沢一中泉丘高校百年史」で検証してみると共に、母校相撲部の栄光の歴史を振り返ってみよう。

◇

◇

◇

昭和8年、第19回大会を10日後に控えた5月18日付北國新聞に次の一文が載っている。

「19年の歴史を誇る金沢一中は何れも学校の都合により不参加を見たのは遺憾である」。さらに試合結果を報じる大会翌日の5月29日付紙面には一中選手の名はない。一中の欠場は間違いない。

昭和一桁代の一中生たちは、大正ロマンの

残影がもたらす自由主義的風潮と百万石意識の交錯する中で、大いに羽を伸ばしていた。上級学校進学や校友会活動にもかつての光輝ある伝統に陰りが生じ、学校側はその引き締めに手を焼いていた。

そこで昭和4年6月、中野邦一知事は一中の

筋書通り厳然！

三名の首謀者追放

宣告に校長と父兄の激論

幕を閉じる一中校騒動

職員的身邊に

警官の保護

北國新聞昭和八年五月十八日付第一版「金沢一中不参加」の記事。この記事は、一中不参加の理由を「学校の都合」と説明している。しかし、この「学校の都合」とは、実際には、校長と父兄の激論の結果、三名の首謀者を追放したという事実を指している。

職員的身邊に警官の保護。これは、一中不参加騒動の際、校長と父兄の激論の結果、三名の首謀者を追放したという事実を指している。

北國新聞昭和八年五月十八日付第一版「金沢一中不参加」の記事。この記事は、一中不参加の理由を「学校の都合」と説明している。しかし、この「学校の都合」とは、実際には、校長と父兄の激論の結果、三名の首謀者を追放したという事実を指している。

同年5月28日付北國新聞

刷新を図るため、愛知一中でその名をはせた伊藤允美校長を一中8代目校長に迎えた。伊藤校長は自ら修身を担当するなど訓育の徹底を図り、課外授業を強化して進学率を向上させた。また、人事の刷新にもメスを入れ、老齢の名物教師や自由主義的教師を追い出し、在任4年間に28人もの大量更迭を強行した。

このように性急な改革は生徒との間に対立

伊藤校長の改革に生徒反発 突然の中間試験で対立再燃

を生じさせ、ストライキにまで拡大した。昭和8年4月18日、校長との間に軋轢を生じて退職させられた地学の齋藤大六教諭が、離任式で不満を述べたのをきっかけに、同情した五年生が校庭に集まって校長排撃の狼煙を上げた。

五年生が教頭と校長に辞職勧告

当時の北國新聞の見出しは次のようにうたっている（一部漢字は常用漢字に変更）。

「木村一中教頭と伊藤校長に辞職勧告 五年生から決議を突付く 齋藤教諭の退職から騒ぐ」「一中名声のため敢然目的貫徹へ 五年生ら交々語る」（4月19日付）

その後、新聞は連日一中騒動を報じている。

「一中騒ぎの波紋 反省を促されて五年生一旦帰宅 今日父兄会を開いて 何等か円満解決を図る」「四高一中会も校長を排斥 昨夜来運動を起こす」（4月20日付）など。

「論難を取り鎮めて 紛擾丸く収まる 昨日父兄会が校長に陳謝 四年生は不問に 一中平穏に帰る」（4月23日付）

昭和8年4月19日付北國新聞

木村一中教頭と

伊藤校長に辞職勧告

五年生から決議を突付く

齋藤教諭の退職から騒ぐ

北國新聞昭和八年四月十九日付第一版「木村一中教頭と伊藤校長に辞職勧告」の見出し。この記事は、五年生から決議を突付くという事実を報じている。

北國新聞昭和八年四月十九日付第一版「木村一中教頭と伊藤校長に辞職勧告」の見出し。この記事は、五年生から決議を突付くという事実を報じている。

ㄨ 上記のように、生徒だけでなく保護者をも巻き込んだ「一中騒動」は、校長への陳謝で一応解決した。

ところがその後、五年生から出された参宮旅行の申し出に対し、学校側はこれを拒否したばかりでなく、突如中間考査の実施を発表したため対立が再燃した。生徒側はこの考査は各種大会を目前に控えた選手たちに酷だとして、保護者会を通じて延期を申し出た。伊藤校長は、学校行事に保護者が口出しするのは心外として、予定通り試験実施に臨んだ。

全国最多98回出場校の表彰を受ける

憤まんを爆発させた五年生は試験の拒否を決議し、三・四年生もこれに同調した。事態の悪化に校長は県首脳部と協議し、五年生全員を出校停止、三・四年生全員に謹慎を命ずると共に首謀者とみなされる3人を停学、2人を諭旨退学処分にした。

ストライキ1カ月余に及ぶ 出校停止で相撲に出られず

「筋書き通り厳然！三名の首謀者追放 宣告に校長と父兄の激論 幕を閉じる一中校騒動」(5月28日付)

こうして一部退職教師、保護者、同窓会をも巻き込み、1カ月余に及んだストライキは



OBも一緒に母校を応援
昨28年5月22日

生徒に犠牲者を出してようやく平常に戻った。同時に伊藤校長も責任を取り辞職(6月30日付)せざるを得なかった。

「百年史」の中に昭和8年の相撲大会欠場の記載はないが、ストライキのため選手たちが出たくても出られなかった様子が推察できる。翌9年も欠場したのは間違いはない。10年の大会前の北國新聞に「二年雌伏の金沢一中が(中略)往年のかくかくたる歴史を再建せんとしている」との記事があり、残念ながら二大会欠場が裏付けされている。



昨年の100回記念大会で母校は全国最多98回出場校として表彰された。この間、一中時代の第3回(大正6年)、5回(同8年)、25回(昭和14年)、28回(同17年)大会で団体優勝した。新制高校の泉丘となってからは同31年の40回大会で大野隆造(旧姓山崎)、寺西正夫、丸山智也の泉丘9期トリオが大活躍、団体3位となった。さらに36年の45回大会では能上宏(旧姓水本、16期)、升田克良(14期)、松田健一(14期)がベスト8で北陸3県最優秀校に、38年の47回大会では3年生になった能上が個人優勝を果たした。近年では泉丘59期の魚住洋輔選手が活躍して久々に団体選に進み、ブラジル派遣選手に選ばれた。

98回の最多出場の盾



カタニ産業株式会社

代表取締役 会 長 蚊 谷 八 郎 (一泉同窓会相談役 泉丘14期)

本社 〒920-0910 石川県金沢市下新町6番33号
TEL (076) 263-6111 FAX (076) 222-3433



一泉同窓会 至極明子
副会長 (泉丘34期)

一泉同窓会 笠松寿美子
副会長 (泉丘通信制41期)

一泉同窓会 澤田力雄
監事 (泉丘15期)



一泉同窓会 広多清一
監事 (泉丘29期)

一泉同窓会 中山一郎
事務局長 (泉丘10期)

一泉同窓会 普神貴行
相談役 (泉丘2期)

一中・泉丘 各期の集い②



◆泉丘28期が卒業40周年記念同窓会

泉丘28期の卒業40周年記念学年同窓会が6月25日、高田直人代表幹事がオーナーの金沢彩の庭ホテル（金沢市長田2丁目）全館貸し切りで約130人（内女性約40人）が参加して盛大に開催された。

開会セレモニーは一堂に会してということで、定員約100名のレストランにまさに肩を寄せ合いながら集合＝写真＝。物故者への黙祷、代表幹事あいさつに続いて、恩師で今年90歳になられる楠楨一郎先生に乾杯のご発声をいただき開宴となった。学年単独同窓会は8年ぶり、ホテル内のラウンジや川のテラス、中の庭などあちこちで思い出話に花が咲いた。

いったん榊谷浩君のあいさつで中締めをしたものの、そのままホテル内各所での二次会に突入、約40人がホテルに宿泊ということもあって、日付が変わっても話がつきない様子だったが、名残を惜しんで閉会となった。

同窓会に先立ち、昼はゴルフ倶楽部金沢リンクスで懇親コンペが行われ、16人が参加。永野琢也君が優勝した。（堀部泰生・記）

◆泉丘30期・泉心会が2回目の同窓会

泉丘30期は、平成23年に一泉同窓会総会の幹事を務めたのを機に期名を「泉心会」と命

名し、2年ごとに開催している。その2回目の泉心会を8月14日、金沢駅前のホテル日航金沢で開いた。遠くメキシコから初参加の猛者もあり、60名が集まった。

白崎勇人君が司会を務め、笑いの絶えない楽しい会となった。恒例の医学講座は会長の私・藤邑（内科クリニック院長）が座長となり、織田裕之君（公立松任石川中央病院循環器内科部長）に「虚血性心疾患」について分かり易く話してもらった。（藤邑宏克・記）

◆泉丘33期が関東・金沢交流ゴルフ

泉丘33期の第1回関東・金沢交流ゴルフコンペが8月21日、上越妙高の森ゴルフコースで開かれた。北陸新幹線効果で東京・金沢からそれぞれ2時間弱圏内での日帰り企画。関東・金沢から9名が参加した＝写真＝。台風が上陸する直前のフェーン現象での炎天の下、前々日に白山単独行から下山したばかりの井



村尚康君が平生からの鍛錬の成果を発揮し、栄えある第1回の個人優勝を飾った。

団体戦優勝は関東組。別途、理系・文系対決では文系が圧勝。その結果、来年の卒業35周年記念交流コンペ開催地は金沢周辺、世話役は理系が担当することになった。表彰式兼懇親会では旧交を温め、大いに盛り上がった。また、次回に向け各人が日々精進し、レベルを上げての再対決を誓った。

（今井朋人＝泉丘33期文系・記）



株式会社 石野製作所
回転寿司コンベア機のトップメーカー

代表取締役
社長

石野 晴紀（泉丘30期）

〒921-8025 石川県金沢市増泉5丁目10番48号
TEL 076-241-7185 FAX 076-241-7551 <http://isn-net.com>



株式会社 オハラ
金沢虹色菓子店

代表取締役
社長

小 原 繁（泉丘30期）

本社 〒920-3133 金沢市柳橋町甲14-1
TEL (076) 288-6572 (代) FAX (076) 288-6573

◆泉丘35期が総会控へ団結同期会

今秋10月15日の創立123周年記念一泉同窓会総会・懇親会の幹事を仰せつかっている泉丘35期の団結同期会が8月13日、本番と同じ会場の金沢駅前・ホテル日航金沢4階鶴の間で開かれた＝写真＝。

本番のスムーズな運営を想定して誘導、受付、会計、会場係など全てのオペレーションを行った。

会は中村太郎実行委員長の乾杯の音頭で始まり、石山直哉実行副委員長が司会を務め、各部門が本番に向けての中間報告を行った。参加者は114名のうち県外出席者は34名だった。3年前から同期会を開いて意識の高揚を図ってきたが、過去最高の参加者となり一泉同窓会総会の成功にける意気込みが感じられた。本番を意識、初めは緊張気味の会も盃を重ねるうちに打ち解けて、久しぶりの再会を懐かしむ光景があちこちに見られた。

今回は諸般の事情により会費の値上げ（1万円）を余儀なくされたが、諸江屋さんのご厚意による校章落雁のほか、充実した記念品を出席者全員にプレゼントすることにしている。（中谷安孝・記）



◆泉7期、6月2日に復活同期会

泉丘7期は平成27年6月の粟津温泉同期会を最後に解散したが、有志から同期会再開を



泉丘35期の中村太郎さんと石山直哉さんが11月14日、母校を訪れて宮崎栄治校長に「教育環境の整備に役立ててください」と30万円を寄贈した＝写真＝。

トビックス

泉丘35期が30万円寄贈 母校の教育環境整備にと

さる10月15日、ホテル日航金沢で開かれた創立123周年記念一泉同窓会総会・懇親会を担当した35期が当日、会場で販売した一中・泉丘の校章入りシルクの手染め手織りカード入れの益金に、35期の心をプラスして寄贈したもの。中村さんは運営実行委員長、石山さんは副委員長を務めた。

宮崎校長は「皆さんの後輩たちのために有効に活用する」とお礼を述べた。贈呈式には江尻祐子副校長（32期）と正村泉一教頭が同席した。

望む声が強くなり、「泉丘7期仲良し会」と銘打って今年（29年）の6月2日、粟津温泉「のとや」で復活同期会を開催することになった。参加希望者は加茂正則代表幹事（携帯090-3296-6034）まで連絡すればよい。

社会福祉法人



理事長 北 篤 司（泉丘30期）

〒921-8054 金沢市西金沢4-617
TEL (076) 249-4988 FAX (076) 249-5977

北川・江木法律事務所

弁護士 北川 秀二（関東一泉同窓会会長）
（泉丘30期）

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町11-9 ストーク四谷102
TEL (03) 5341-4477 FAX (03) 5341-4474
E-mail Ks@kitagawa-law.jp



◆泉42期、4年ぶり同窓会に110人

泉丘42期の同窓会が8月13日、金沢東急ホテルで4年ぶりに開かれた。42期は4年に一度、オリンピック開催年に同窓会を行っており今回で3回目。旧盆休みに帰省した級友も多く恩師の梅田和秀先生、中村章子先生、小石一寛先生も含め110人が集まり盛会となった＝写真＝。

栗森世里奈さんと亀崎大輔君の司会で42期代表幹事の私・梅谷が歓迎のあいさつ、梅田

先生の乾杯の音頭で酒宴となった。久しぶりの再会に終始笑顔が溢れる同窓会となった。全体写真の他にクラスごとの記念撮影も撮り、近況報告も行った。最後は全員で校歌を歌い、4年後の再会を誓い、西原佳蔵君の感動的な中締めで閉会となった。（梅谷基樹・記）

◆泉50期が卒業20周年同窓会の準備会

泉丘50期が来夏（平成29年）に卒業20周年記念同窓会を開くが、その準備会が8月13日、金沢市片町1丁目のダイニングバー・JIMホールで開かれた。これまでクラス会などを行っていたが、期全体に呼びかけた会は初めてで40人が集まった。

代表幹事の私・横田の発声で乾杯、にぎやかに酒宴になったが初顔合わせ人が多く、思い出話に花が咲いた。夜中の三次会まで約半数が残り旧交を温めた。（横田健一・記）

一中魂を受け継ぎ「行列」

OB80人加わり総勢470人

8月28日から始まった母校・泉丘高校の第68回創立記念祭に先駆けて、恒例の「一泉行列」が27日、金沢市本多町の金沢歌劇座前から母校までの約4.5キロを練り歩いて行われた。行列には一泉同窓会の会員約80人が参加、総勢470人で「一中魂を受け継ぐ泉丘」を県民、市民にアピールした。

金沢一中の跡地・歌劇座前での出発式では、宮崎栄治校長に続いて清水義博一泉同窓会会長が「昭和12年、一中生たちはこの地から現在地に新築された校舎に向け、シンボルの厳霜碑を大八車に積んで運んだ。その道筋をたどることで一中精神を思い起こしてほしい」と行列の意義を後輩たちに訴えた。



午前10時15分、プラスバンドの軽快な演奏に乗って行列は出発した。同窓会参加者の最年長は83歳の泉丘4期生。16期の応援団長・広瀬靖久さんは今年も羽織袴に高下駄ばき。副団長の山本武生さんは自作の被り物姿。総会・懇親会幹事期の35期の中村太郎実行委員長ら8人は10月15日のPRプラカードを持って歩き、沿道の同窓生に当日参加を呼びかけた＝写真＝。

わかさホームケアクリニック

院長 熊 走 一 郎（泉丘30期）

〒921-8111 金沢市若草町5-6
TEL (076) 256-2321 FAX (076) 256-2322

ショコラ動物病院

院長 小 杉 千 里（泉丘30期）

〒921-8801 野々市市御経塚2-39
TEL (076) 240-7500

東京オリンピックを3年後に控え、受動喫煙に対する規制もこれまで以上に強くなることが予想されます。4月から年度も変わり、新しいことに挑戦しようと思う時期です。インターネットで検索すれば禁煙治療を行っている医療機関を探すことができます。禁煙でタバコから自由になりませんか。

文化・運動部 OB 会だより



桜美会美術展 79人の95点を展示

一泉桜美会の第44回美術展が12月6日から11日まで、金沢市の21世紀美術館で開かれた。会場には会員51人の作品73点と、在校生28人の共同制作を含む22点が展示され、訪れたファンの目を楽しませた＝写真＝。

今回は最高齢出展者は一中47期の三須徹さんで、120号の水墨画「孤高」と50号の同「雪吊」の大作2点を寄せた。書、油絵、写真からパステル、アクリル、コラージュ、陶芸と多彩な作品が揃い、年齢も10代から90代と世代を超えて美と感性を競った。

油絵の金守謙吉さん（泉丘2期）、創作表装の篠原博さん（同10期）、木版画の高橋孝夫さん（同17期）が新しく仲間入りしてにぎわいに花を添えた。

40回目の小品展に作品50点並ぶ

一泉桜美会の第40回小品展（10号以下の作品）が5月13日から18日までの6日間、母校近くのグリーンアーツギャラリーで開かれた。会員40人の作品50点を寄せた。親子で出展した一中49期の山川孝さんの書「美女の麗聲」と泉丘18期の富沢拓さんの写真「春の役役」が話題を集めていた。

中村八段が模範演武 一泉
剣友会

一泉剣友会の中村正人さん（泉丘23期）が全日本剣道連盟から居合道範士八段の称号を受けたのを記念する模範演武が8月6日、母校・泉丘の剣道場で行われた＝写真＝。会場には部員20人をはじめ剣友会の鈴森庸雄会長（同18期）、本保義浩幹事長（同30期）ら会員20人、学校側から宮崎栄治校長、高下裕介、長戸正憲両顧問ら総勢48人が出席して気合のこもった鋭い太刀裁きを見守った。

小林真副会長（同27期）の開式の辞に続いて鈴森会長が「中村さんの模範演武を目に焼き付けて、今後の技術向上に役立ててほしい」とあいさつ、中村範士八段が見事な居合



道を披露した。その後、船木一璋前会長（同14期）から記念品として居合用紋付き袴、鈴森会長から記念面手ぬぐい、現役女子主将の西上日和子さん（2年）から花束を贈呈した。

これに対し中村さんは「一泉剣友会員としての誇りを持ち、さらに精進したい」と謝辞を述べた。続いて男子主将の野村大輝君（2年）が「立派な先輩を誇りに、一層練習に励んでいく」とお礼の言葉を述べた。最後に鈴森会長や中村さんも加わって、現役生との稽古会が行われた。また、夜は金沢ニューグランドホテルで祝賀会が開かれた。

Sopak-C 見たい現場がすぐ見える
カイゼンカメラ ソバックシー

株式会社 小林製作所
代表取締役 小林 靖典（泉丘30期）
〒924-0855 石川県白山市水島429-17
電話076-277-7330 FAX076-277-7331
<http://www.kobayashi-mfg.co.jp/>

中古車買取、中古自動車部品輸出
会宝産業株式会社

常務取締役 櫻井 茂 宏（泉丘30期）

〒920-0209 石川県金沢市東蚊爪町1丁目25
TEL(076)237-5133 FAX(076)237-1950

野球部 OB 会 創部110周年で協議

一泉野球部 OB 会の第19回総会が8月12日、金沢東急ホテルで会員45人が出席して開かれた＝写真＝。

総会は宮地治会長（泉丘23期）が議長につき、平成27年度事業と決算を報告、28年度の事業計画と予算が承認された。また、29年の創部110周年記念事業についても協議した。

引き続いての懇親会では、母校の宮崎栄治校長、寺口結野球部監督、谷畑響部長を来賓に迎え、宮崎校長から祝辞、寺口監督から野球部の近況報告をいただいた。

中尾治郎副会長（同17期）の発声で始まった酒宴では、今夏の選手権でシード校や強豪を破って11年ぶりにベスト8と健闘した現役部員たちを称賛し、来年以降も夏を盛り上げてくれることを皆が期待した。最後に母校の甲子園出場に向け、全会員が支援の輪を広げることを誓い合って校歌を斉唱、野村稔顧問（同5期）の閉会あいさつで散会した。

（谷端時宗＝泉丘43期・記）



現役生と交流試合 サッカー部 OB 会

泉丘高校サッカー部 OB 会と現役生との交流試合が今年も旧盆の8月15日、母校のグラウンドで行われ、いい汗を流した。



ショッピングタウンアルプ

代表取締役
社長

高田 太兵衛（泉丘30期）

〒927-0435 石川県能登町宇出津新港2-7
TEL(0768)62-4811 FAX(0768)62-0956

トピックス

○…平成28年夏の第98回全国高校野球選手権石川県大会に出場した母校・泉丘ナインは、11年ぶりに8強進出を果たした。一回戦の津幡に7-5、二回戦の金市工に4-3で勝ち、三回戦はシードの北陸学院を9-2（7回コールド）で下した。準々決勝では昨夏4強の小松大谷に一時は3-0とリードしたが6-8で惜敗、スタンドを埋めたOBや現役生に多くの感動を与えてくれた。

猛打の母校にOB感動

○…校舎の耐震工事のためグラウンドの半分にプレハブ校舎が建ち、2年間も満足な練習が出来なかった泉丘は、トスバッティングや走り込みで力をつけ、4試合のチーム打率は3割8分3厘。本塁打は三番牛田が二本、一番島田と四番尾島が各一本など長打が17本。打撃ベスト5は一番遊撃・島田健次③6割8分7厘、二番2塁・三井健矢②6割、三番3塁・牛田淳一③4割6分6厘、七番中堅・柿拓弥③四割一分六厘、四番左翼・尾島和樹③四割一分一厘の猛打ぶりだった。

この日は朝からあいにくの雨模様。それでも2、3年前の卒業生4～5人が集まった。昼前に雨が上がりグラウンドが乾きだすと携帯電話で連絡、たちまち20数人が集まった。OBたちはそれぞれの時代のユニホームを着て来るのが特徴で、対抗戦や入り混じっての試合を楽しみ、先輩らしく所々でテクニクの指導も行った。

ふじむらクリニック

内科・循環器科・リハビリテーション科

医学博士 藤 邑 宏 克（泉丘30期）

〒920-0345 金沢市藤江北3-46-1
TEL(076)267-5577 FAX(076)267-5503

陸上部 OB会 新調の横断幕を披露

平成28年度金沢泉丘高校陸上競技部 OB 会の総会・懇親会が11月19日、金沢駅前の ANA クラウンプラザホテル金沢で開かれた。出席した40人は総会への参加者増と母校へのさらなる支援を誓い合った＝写真＝。

総会は小泉学幹事長（38期）と土用下和之会長（同期）のあいさつで始まり、今年度高校総体前に新調して母校に寄贈した横断幕と試合用鉢巻が披露された。横断幕は縦1.2メートル、横6メートルの大きさで、スクールカラーの深緑地に白抜きで「いざ、頂点へ！金沢泉丘」と力強く書かれている。引き続いて母校の酒井智朗陸上部顧問が後輩たちの活動状況について「秋の新人大会で男女共に多くの入賞者が出た。しっかり指導して表彰台にのぼらせてい」と期待に満ちた報告をした。

今回は50期以降の若い OB の出席が多かつ



たが、20期以前が激減した。そこで今後の活動課題として、各期に代表者を決めて連絡体制を整え、総会への出席者増と母校への支援強化につなげることになった。

続く懇親会は木本利夫前会長（16期）の発声で乾杯して酒宴となった。恒例となった全員のリリーススピーチでは、金沢マラソンへの出場やトライアスロンに挑戦中など、陸上部 OB ならではの報告が多かった。最後に櫻吉啓介副会長（39期）が中締めあいさつをして閉会した。（岡島清＝30期・記）

トピックス

平成28年度の石川県高校総合体育大会（インターハイ）で母校・泉丘は138.5点を獲得、2年連続で総合4位と健闘した。成績順位は上から金沢学院、星稜、金沢と3位まで私立勢が占めており、公立高校では泉丘がナンバーワン。後

高校総体、28年度も4位

輩たちは「文武両道の泉丘」をしっかり守り、練習と勉学に励んでいる。

男女別では男子が92点で6位、女子は46.5で12位。総合4位に押し上げた男子では登山部とテニス部が団体優勝、ハンドボールと弓道が3位、卓球は4位、サッカーがベスト8に入るなどの活躍が見られる。



優勝した登山部



優勝した男子テニス部

みもと行政書士事務所

行政書士 美本昌文（泉丘30期）

宅地建物取引士（千葉）第042600号
1級電気工事施工管理技士

〒920-0348 石川県金沢市松村7丁目124-13
TEL (076) 213-5126 FAX (076) 213-5126

建築設備設計・監理

株式会社 アスカ設備研究所

代表取締役 宮江勇治（泉丘30期）

〒924-0032 石川県白山市村井町47-2
TEL (076) 275-7060 FAX (076) 275-4746

OB 講演会から

先輩12人から進路を学ぶ
28年度「社会人と語る会」

各界で活躍する泉丘高校出身の先輩たちを母校に招いて話を聞き、進路選択の参考にする平成28年度の「社会人と語る会」が11月3日、2年生の普通科生徒360人を対象に開かれた。文科省指定のスーパーグローバルハイスクール（SGH）2年目の事業の一環で、今年度は12人が後輩たちのためにと母校に参集した。

現役生たちが第一、第二希望と2人から話を聞けるようにと6、7限目と二度教壇に立った先輩たちは、自分が選んだ現在の仕事の満足度、その仕事に就くために選んだ大学と学部学科、高校時代の勉強の仕方などについてパワーポイントを使って分かり易く語り、生徒たちも熱心に質問した。

講師を引き受けてくれたのは次の皆さん。

◆〈公務員・文系〉白山警察署交通第一課企画係長の窪美希さん（50期）◆〈公務員・理系〉産業技術総合研究所人工知能研究センター副センター長の山崎知己さん（37期）◆〈法律関係〉北川・江



窪美希さん



山崎知己さん



北川秀二さん



釜谷秀治さん



江戸則崇さん



中村太郎さん



藤澤瑛子さん

木法律事務所弁護士の北川秀二さん（30期）◆〈建築関係〉鹿島建設金沢営業所所長の釜谷秀治さん（37期）◆〈ビジネスⅠ〉江戸税理士事務所税理士の江戸則崇さん（46期）◆〈ビジネスⅡ〉中村酒造代表取締役社長の中村太郎さん（35期）◆〈マスコミ関係〉北國新聞社政治部県政担当記者の藤澤瑛子さん（52期）◆〈医療関係Ⅰ〉KKR北陸病院整形外科医師の島洋祐さん（44期）◆〈医療関係Ⅱ〉金沢大学附属病院薬剤部副薬剤部長兼医療安全管理部副部長・薬剤師の増江俊子さん（35期）◆〈機械・電気・電子系〉北陸電力配電部副部長の今村栄夫さん（37期）◆〈国際関係〉金沢工業大学教授・国際交流センター副所長／前職：JETRO（日本貿易振興機構）の大砂雅子さん（26期）◆〈化学・コンピューター関係〉神戸大学大学院工学研究科応用科学専攻准教授の大谷享さん（41期）



島洋祐さん



増江俊子さん



今村栄夫さん



大砂雅子さん



大谷享さん

増山氏、台湾について講演



平成28年度の国際理解講演会が2月2日、修学旅行の事前研修を兼ね啓泉講堂で開かれた。今回も講師は金沢市ふるさと偉人館の増山仁学芸員（泉丘29期）＝写真＝で、今秋に訪台する1年生400人に対し「台湾の歴史と少数民族・八田與一（一中11期）の果たした役割」と題して講演した。

石油販売



サービス付き高齢者向け住宅

愛SUN SUN・愛SUN SUN式号館

石川米油株式会社

代表取締役 山上公介（泉丘30期）
（社会福祉士）〒920-0061 金沢市間屋町1丁目72
TEL(076)239-1223 FAX(076)239-1224

株式会社ヤマト醤油味噌

代表取締役社長 山本 晴一（泉丘28期）

取締役工場長 山本 晋平（泉丘30期）



本社 〒920-0331 金沢市大野町4丁目イ170
実店舗・ひしほ蔵 TEL076-268-1248 FAX076-268-1242
TEL076-268-1210（ひしほ蔵専用）
東山直売所 〒920-0831 金沢市東山1丁目6-10
TEL076-251-2235

<http://www.yamato-soysauce-miso.co.jp/>

28
年度
一
泉
賞

藤尾杏実さん



安孫子怜央君



野村颯汰君

新聞部代表
越後直哉君

品川和基君



— 4 人と新聞部に贈呈

平成28年度「一泉賞」が3月3日の全日制卒業式の席上3人と1団体に、同5日の通信制卒業式で1人に清水義博一泉同窓会会長から贈呈（賞状とトロフィー、副賞の図書カード1万円分）された。同6年に創立100周年記念事業の一つとして設けられたもので、学業と課外活動を両立させた生徒に贈られる。

今年度の受賞者は次の皆さん。

◆藤尾杏実さん 1年次の第60回青少年読書感想文コンクールで、石川県代表の最優秀賞を得た。全国大会では優秀、優良各3作品に次ぐ奨励賞（5点）に選ばれた。勉学だけでなく、学校行事にも全力で取り組んで活躍する多彩な人物である。

◆安孫子怜央君 1年次の第69回国体（長崎）サッカー競技少年男子石川県選抜チームの一員に選ばれ、第5位の成績を収めた。本校サッカー部でも1年次からレギュラー、3年次には主将としてチームをけん引、総体終

了後も秋の県予選まで活躍を続けた。

◆野村颯汰君 2年次の第70回国体（和歌山）サッカー競技少年男子石川県選抜チームの一員として5位入賞を果たした。本校サッカー部では2年次からレギュラー出場して総体予選やリーグ戦で活躍。明るい性格でチームメートからも慕われた。

◆新聞部 越後直哉君が部長を務める新聞部は、27年度の石川県高校新聞コンクールで最優秀賞を受賞、3年ぶりに県のトップに返り咲いた。併せて第45回全国高校新聞コンクールで、5年ぶりに優秀賞（応募113校中上位6位相当）を受賞した。また、年間発行号数を例年より1号増やし、いずみの原速報を創刊、速報は2年間で16号にも及んだ。

◆品川和基君 泉丘通信制に入学以来3年続けて全国高校定時制通信制体育大会の卓球大会に出場、1年次にベスト8、2年次は3位、3年次に見事優勝した。学習にも意欲的に取り組み、各教科とも優れた成績で第60回卒業式では卒業生代表の答辞に選ばれた。

トピックス

アニメーション映画「借りぐらしのアリエッティ」や「思い出のマーニー」を手掛けた米林宏昌監督＝野々市市出身、泉丘44期＝が描き下ろした椿や老女と孫の作画入り懸垂幕（縦7.8メートル×横1.1メートル）が2月1日から第27回全国椿サミット野々市大会終了時の3月19日まで同市役所横の掲示塔に設置され、市民の心を慰めた＝写真＝。

サミットのキャッチフレーズ「古（いにしえ）から未来へつなぐ朱鷺色の時間（とき）」を意識してつぼみと開花した椿、孫とおばあちゃんを描いたもので、米林監督は絵に添えて次の文を寄せている。

椿の花が美しく見えるとき、なんと

も、まだ硬いつぼみと、満開に咲いた花が同時に見える瞬間かな、と思います。

それはまるで、これから大きくなってゆく子供たちと、長い年月を生きてきた大人が一緒にいるように見えました。

毎年美しい花を咲かせて、はかなく散ってゆく椿、今、咲いている自分のこの瞬間を、大切にしたいな、と思いました。

同市は絵と文を市の封筒にも取り入れた。



母 校 だ よ り

台湾・建國中生が泉丘へ
交流会などで親睦深める

台湾・台北市の建國高級中学の徐建國（じょけんこく）校長と1～3年生45人が4月26日、泉丘高校を訪れ、交流会などで親睦を深めた。

泉丘高は台湾の水利事業に貢献した八田與一技師の母校（旧制金沢一中）。建國中は八田技師の長男・晃夫さんの出身校（旧制台北一中）。両校はこれを縁に6年前から交流を続けており、昨年4月には姉妹校協定を結んだ。

この日正午前に到着した建國中の一行を、泉丘の2年生10クラスの各会長、副会長20人と生徒会の6人が迎え、大会議室で歓迎会が開かれた。まず宮崎栄治校長が「日本らしさが残る金沢へようこそ」とねぎらい、「秋には泉丘生が修学旅行で訪台しますのでよろしく」とあいさつ、昨秋に就任した徐校長も初訪問の喜びを述べた。続いて生徒代表同士もスピーチした。

泉丘高の食堂で昼食をとった建國中生らは午後から6班に分かれてまず授業を見学。6、7限目はクラス交流会に臨んだ。泉丘高生は絵や写真を使って日本の祭りやスポーツを説明、フルーツバスケットなどのゲームも楽しみ、放課後は部活動も見学した。半日間、たっぷり交流して友情も育んだ一行はドーム下で記念撮影、泉丘生に見送られて次の見学地へ向った。

建國中の一行は日本への修学旅行中で、午前中に兼六園を見学、この後福井や関西地区を巡って30日に帰路につく。

米プリンスト高が来校
4日間、泉丘生と交流

米国ニュージャージー州のプリンストン高校で日本語を学ぶ生徒23人が3月13日、泉丘高校を訪れ、ホームステイ先の1、2年生ら80人と交流した。

泉丘高校では海外でも活躍できる人材育成の一環として訪米を続けており、平成27年8月には理数科の2年生40人がプリンストン高校を訪れ、昨年10月にもスーパーグローバルコースの2年生41人が訪問してホームステイを行っており、今回はプリンストン高校側の申し出で訪日・来校が実現した。

午後に到着した一行を迎えて、生徒ホールですぐに歓迎会や交流会が開かれた。互いに英語で自己紹介し合った後、3、4人でチームになり、米国ではなじみのない「あっち向いてはい」が行われると＝写真＝、すぐに親しくなっており、あちこちで笑い声が上がった。

翌14日は1年生の全クラスに2～3人ずつ分かれて入って授業を受けた。途中で書道で漢字に挑戦したり、和室で華道も経験して日本文化に触れた。15日には一旦登校した後、金沢市内観光を楽しみ、16日にはホスト家族も加わって送別会を行い、京都に向かった。

税理士法人 AC
横田雅裕公認会計士事務所

公認会計士 横 田 雅 裕 (泉丘30期)
税 理 士

〒920-0947 金沢市笠舞本町1-1-14
TEL (076) 2 3 6 - 2 6 0 0

り・としや眼科クリニック

院長 李 俊哉 (泉丘30期)

〒103-0012
東京都中央区日本橋堀留町2-6-6ライオンビル6F
URL <http://www.leetoshiya.jp>
TEL. 03-6206-2855



安全な布製の幕天井に改修 講堂の耐震工事が完成

平成28年8月から行われていた母校・泉丘高校の第三期耐震・大規模改修工事（啓泉講堂の天井落下防止対策工事）は29年1月25日に完成した＝写真＝。

高さ13メートル、広さ905平方メートルの講堂内全面に足場を組んで、ワイヤーで吊り下げられていた天井パネル（平面）を撤去、安全な布製の幕天井に改修した。特に舞台近くはスポットライトや音響装置を生かすために平面幕でなく、波型のふさぎ幕が採用された。



併せて71個の照明がLEDに替えられ、後部と二階の固定椅子も清掃されて講堂全体が明るくなった。

残る管理棟改修工事、7月にも着工

残るは学校正面3階建ての管理棟で、第四期工事として早ければ29年7月にも着工、30年1月末に完成の予定。内部の耐震・大規模改修と外壁塗装工事が行われる。

工事のため校長室、事務室、生徒指導課などが一時期、校内移動を余儀なくされる。

大型TV5セット寄贈 69期生の卒業記念

泉丘69期生（395人）は卒業記念に、視聴覚教育用備品の55型液晶テレビ、同テレビ台、

DVDの組み合わせ5セットを母校に寄贈した。特別教室棟の生物や化学などの5講義室に設置された。画像説明の際に使用していたプロジェクターよりテレビの方が鮮明に映し出されるので、期待されている。

SGH、SSHとも訪米

文科省指定2年目の泉丘高スーパーグローバルハイスクール（SGH）の2年4ホームの41人は、10月3日から10日まで7泊8日の日程で訪米、ニューヨークやプリンストン大学を訪れて国際人としての課題研究に当たった。

国連職員による講義や日系企業訪問もあったが、オンタリオ湖近くで環境問題に取り組む団体エコヴィレッジイサカで交流したり＝写真＝、6日目に泉丘の先輩・ヴロードウェー女優の由水南さん（54期）に会って話を聞くなど、貴重な体験をして帰国した。

一方、文科省指定14年目のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）は、理数科2年生の希望者36人が参加して7月31日から8月8日までの8泊9日の米国海外研修を実施した。ボストンでハーバード大、マサチューセッツ工科大などを訪れ、科学英語に関するプログラムを学んだ。

SGH、SSHともニューヨーク州、ワシントン州で活躍する泉丘OBと交流のため情報を待っている。連絡は一泉同窓会事務局まで。



株式会社 **山越**

代表取締役会長 **山越 昭雄**（泉丘11期）

本社 〒920-0001 石川県金沢市千木町ル70番1
TEL：076-257-9101（代表）
東京営業所 〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目12番6号 国際芝浦ビル7階
TEL：03-6435-3377

お客様と共に 時代に即した価値向上を目指します



印刷・出版・マーケティング・eビジネス

株式会社 **橋本確文堂**

代表取締役社長 **橋本 勝郎**
（泉丘12期）

営業本部 〒921-8025 石川県金沢市増泉 4-10-10
TEL：(076)242-6121 FAX：(076)243-7945
東京支店 〒105-0013 東京都港区浜松町 1-18-12
TEL：(03)5472-7030 FAX：(03)5472-5101

www.mba.co.jp

平成28年度一泉文庫寄贈・購入本

書 名	著 者	購入・寄贈者
月刊ジェイ・ノベル4 第14回北区内田康夫ミステリー文学賞発表！大賞受賞作 島村潤一郎（泉丘36期）「小さな木の実」	島村潤一郎（泉丘36期）	寄贈・島村潤一郎（泉丘36期）
薬学史事典	日本薬史学会編・荒木二夫（泉丘8期）ら共同編集・執筆	寄贈・荒木二夫（泉丘8期）
旧街道紀行～歩いて学ぶ歴史と文化	八尋章文（泉丘14期）	寄贈・八尋章文（泉丘14期）
北陸文学80号 荒川義清追悼号	北陸文学同人会	寄贈・北陸文学同人会
中川外司氏を偲ぶ～八田與一技師の功績を顕彰する耕転者	台湾嘉南農田水利会	寄贈・故中川外司（泉丘8期）夫人
石川県人名事典現代編 最終編	石川出版社	寄贈・中山一郎（泉丘10期）
室生犀星と表 棹影―青春の軌跡	小林弘子（泉丘12期）	寄贈・小林弘子（泉丘12期）
ブラジルに五十年	春田秀夫（泉丘12期）	寄贈・春田秀夫（泉丘12期）
週刊東洋経済 大学より濃い校風と人脈 高校力	東洋経済新報社	購入
新田泰久詩集「朝のいのり」	新田泰久（一中56期・泉丘2期）	寄贈・新田泰久（一中56期・泉丘2期）
新田泰久詩集「幻影」	新田泰久（一中56期・泉丘2期）	寄贈・新田泰久（一中56期・泉丘2期）
回想の八田與一 一家族やゆかりの人の証言でつづる―	北國新聞社出版局編	購入
轍 わだち	福田孝二（泉丘4期）	寄贈・福田孝二（泉丘4期）
版画詩集 草千里人万里	徳沢愛子（泉丘9期）	寄贈・徳沢愛子（泉丘9期）
西田鉄学と酸素革命―うつ病・生活習慣病の予防から認知症・農村対策まで―	西田雄三（泉丘14期）	寄贈・西田雄三（泉丘14期）

通 信 制 だ よ り

新幹線開業でホテルの時代

企業講演会で庄田氏（泉丘16期）語る

高校生に仕事のやりがいを知ってもらい、就職意欲を高めるための企業トップ講演会が11月14日、泉丘の通信制課程で開かれた。講師を務めたのは金沢ホテル懇話会の庄田正一会長（金沢ニューグランドホテル社長、泉丘16期＝写真）で、約40人の生徒を前に「これからはホテル産業の時代」と題して講演した。



庄田会長は、北陸新幹線の開業によって金沢に観光客が押し寄せており、今後の京都、大阪への延伸を考えると、金沢のホテルは努力次第でまだまだ伸び続ける―と語り、即戦力となる人材が必要だと説明した。

さらに、即戦力とはプロを意味し、シャンドリアのわずかな暗さで電球が数個切れているのが分かるように、「見えないものが見えるのがプロ」と分かり易い例を挙げて説明して、生徒たちの共感と呼んだ。

活躍する後輩たち

◆鉄道研究同好会が最優秀賞

石川県高文連郷土部の秋季合同研究発表会は11月10日、金沢市の県立歴史博物館で開かれ、泉丘高校鉄道研究同好会の「ローカル線のと鉄道の調査」が最優秀賞に選ばれた。内容は蛸島から穴水、輪島間の廃線32駅の現状や、現行区間存続への提言からなる。

泉丘は29年8月に栃木県で開かれる全国高校社会科研究発表大会に出場する。

高校柔道 男子60^キ 西選手が一本勝ち

第39回全国高校柔道選手権石川県大会は1月22日、金沢市の県立武道館で開かれ、男子60^キ級で泉丘2年の西大和選手＝写真＝が内股の一本勝ちで鶴来の庄源理樹選手を破り優勝した。



西選手は得意の背負い投げで勝ち進み、決勝では体落として仕留めるタイミングを計り、試合時間は5分を超えた。「返し技が怖かったが、自分から行けば勝てる自信はあった」と振り返った。

東大に15人、京大に24人合格^(28年度)

東大、京大など国公立大学の平成28年度入試前期合格者が3月10日までに発表され、母校・泉丘高校から東大に15人（現役11人）、京大に24人（同10人）が合格した。東大現役合格者のうち1人は今年度から始まった推薦入試による合格で、京大でも1人が特色入試で合格した。また、東大の現役合格者数2桁は同18年度以来10年ぶりで、難関2大学の合格者数を他高校と比べてみても金大附属（東大12人、京大2人）、富山県1位の富山中部（東大15人、京大3人）を圧倒的に上回った。

その他の難関国公立大では阪大27人、神大16人、名大13人、東北大、北大各10人、東工大、九大各2人、一橋大1人が合格した。

なお、金大には69人（現役53人）、うち医学部医学科には8人（同6人）が合格した。医学科全体の合格者は13人（同6人）で、このうち名大と北大に各1人（いずれも過年度生）が合格した。



科学グランプリ 荻野組が3部門1位

平成28年度の「いしかわ高校科学グランプリ」が11月23日、石川県地場産業振興センターで開かれ、泉丘2年理数科の荻野恭輔君、柿本理一君、金子舜君、木下颯馬君、小林賢太郎君、砂山風磨君、徳田駿君、物部優太君の8人で構成された「Team Silent Captain」が、大会史上初の3部門1位の快挙を成し遂げて優勝した＝写真＝。

競技は前半が筆記。6人で物理、数学、生物、化学、情報、地学の6科目の問題をそれぞれ得意科目を分担しながら、時には協力し

て時間内に説くもの。後半の実技は実験系と総合系があり、3人ずつに分かれて挑戦した。競技には県内高校から30チームが出場した。

◆高校かるたⅠ、Ⅱ部とも泉丘制す

第24回石川県高校対抗かるた大会兼第38回全国かるた選手権選考会は6月5日、金沢市の県文教会館で行われ、Ⅰ部の有段者の部で泉丘Aが、Ⅱ部の無段者の部でも泉丘Bが優勝した。

◆県高校英語討論で泉丘Aが優勝

石川県高校文化連盟英語部の第11回英語ディベート大会は8月21日、金沢市の県文教会館で開かれ、県内10校の32チームが英語で討論、泉丘Aが優勝、Bは3位となった。

〈編集後記〉

「一中が消えていく」一。平成29年が明けて2か月。同窓会事務局に届いた訃報は一中9人、泉丘14人と泉丘の方が多いのにもかかわらず、なぜか心を揺さぶられる。

一中49期・山川孝さん、2月7日死去、享年92歳。毛筆のきれいな人で一泉桜美会に自ら出品する傍ら、毎年80点近い作品の名札を書いて下さった。決して偉ぶらず笑顔が忘れられない人だった。

一中50期・太田重雄さん、2月21日死去、享年92歳。同期会の世話を一生懸命に続けられ、よく事務局に顔を出された。きれいな透る声で野球部応援歌、端艇部部歌など応援歌は全部歌われた。

一中46期・金谷與平さん、2月22日死去、享年95歳。背筋をピンと伸ばした紳士で、期や地区の同窓会に積極的に出席された。

三人の共通点は母校愛の強さと一中卒に対する誇りだ。家族から訃報届と共に「長い間お世話になりました」と感謝の言葉が聞かれたが、こちらこそ一中と泉丘の繋ぎ役としても活躍いただき感謝に堪えない。（N）

「一泉」編集室

中山一郎（泉丘10期） 浅香以都子（同10期）
小林弘子（同12期）

題字・普神貴行（一中56期・泉丘2期）